

**製品名: CK17 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80756**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	49kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CK17
別名	PC; K17; PC2; PCHC1; KRT17
遺伝子 ID	3872.0
SwissProt ID	Q04695
免疫原	大腸菌で発現した CK17 の精製された組み換え断片。

**背景**

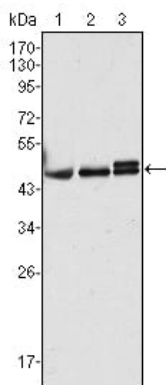
CK17 (KRT17 と呼ばれる) は、I 型中間径フィラメント鎖ケラチン 17 です。爪床、毛包、脂腺、その他の表皮付属器に存在します。この遺伝子の変異は、ジャクソン・ローラー型先天性爪厚化症および多発性脂肪嚢腫を引き起こします。様々な皮膚付属器の形

成と維持、特に毛髪<sup>1</sup>の形状と方向の決定に関与している可能性があります。複雑上皮における基底細胞分化のマーカーであり、特定の種類の上皮「幹細胞」を示唆している可能性があります。乾癬<sup>2</sup>の免疫病態において自己抗原として作用し、特定のペプチド領域が自己反応性T細胞の主要な標的となり、それらの増殖を引き起こす可能性があります。毛包の正常な成長、特に成長期（成長期）の持続に必要です。毛周期という特定の状況においてTNF- $\alpha$ の機能を調節する。アダプタータンパク質SFNへの結合とAkt/mTOR経路の刺激を通じて、タンパク質合成と上皮細胞の増殖を制御する。組織修復に関与する。

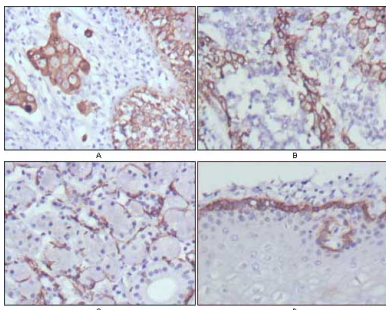
## 研究分野

-

## 画像データ



Hela (1)、MCF-7 (2)、A431 (3) 細胞溶解物に対するCK17 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



CK17 マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト肺癌 (A)、子宮内膜癌 (B)、舌下腺 (C)、食道 (D) 組織の免疫組織化学分析。